

梅雨前線の活発な活動による豪雨対応状況（第1報）

水資源機構本社では、台風3号による洪水の発生に備えるため7月3日22時より注意態勢に入っていましたが、九州北部において梅雨前線の活発な活動による猛烈な降雨が観測され、筑後川局及び朝倉総合事業所が非常態勢に入ったことから、水資源機構本社は5日16時30分に非常態勢に移行しました。

水資源機構が管理する寺内ダム（福岡県朝倉市）については、5日14時10分より洪水調節を開始し、洪水流量では最大流入量毎秒約888立方メートルの約99%となる毎秒約878立方メートルを、総量では約1,170万立方メートルの水量をダムに貯留する洪水調節を行いました。現在も防災操作を継続しています。これらの数値は速報値であり、今後変更となる可能性があります。なお、臨時点検の結果、寺内ダム本体に、特段の異常がないことを確認しています。

その他九州管内で水資源機構が管理している施設に大きな被害は現時点で確認されていません。

また、福岡県朝倉市周辺において、大規模な災害が発生したため、朝倉総合事業所から、朝倉市役所に2名及び福岡県朝倉県土整備事務所に2名のリエゾンを派遣しました。東峰村へは進入路を確認ののち、リエゾンを派遣する予定です。

平成29年7月6日



独立行政法人 水資源機構

発表記者クラブ

国土交通記者会

水資源記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 総務部広報課 河合、澤田

住 所：埼玉県さいたま市中央区新都心11-2

電 話：048(600)6513

(位置図)

